

令和4年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

| | | |
|---------------|-----------------|-------------|
| 団 体 名 | 一般社団法人パペットナビゲート | |
| 施 設 名 | 人形劇場とらまる座 | |
| 助 成 対 象 活 動 名 | 公演事業・人材養成事業 | |
| 内 定 額 (総 額) | 12,768 | (千円) |
| | 公 演 事 業 | 12,643 (千円) |
| | 人 材 養 成 事 業 | 125 (千円) |
| | 普 及 啓 発 事 業 | 0 (千円) |

(1) 令和4年度実施事業一覧【公演事業】

| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
|----|---|----------------------------|---|----------|---------|
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 1 | 定期人形劇公演事業1 (招聘プロ劇団公演) | 2022年4月29日 ～2023年3月21日 | 上演：国内プロ人形劇団22劇団 上演約60分の人形劇プログラム 期間中 計82公演実施 | 目標値 | 8,520 |
| | | とらまる座ホール | | 実績値 | 5,563 ※ |
| 2 | 定期人形劇公演事業2 (委託プロ劇団公演) | 2022年4月9日 ～2023年3月18日 | 上演：とらまる人形劇団 上演約50分の人形劇プログラム 期間中 計39公演実施 | 目標値 | 5,400 |
| | | とらまる座ホール | | 実績値 | 1,328 ※ |
| 3 | 人形劇場とらまる座30周年記念・特別公演事業1 (国際人形劇連盟UNIMA日本センター総会企画公演) | 2022年5月22日 | 上演：UNIMA加盟3劇団 「モノとココロ」1公演 3劇団連続公演プログラム | 目標値 | 115 |
| | | とらまる座ホール | | 実績値 | 56 ※ |
| 4 | 人形劇場とらまる座30周年記念・特別公演事業2 (海外劇団作品公演) | 2022年8月2日 2023年8月13・14日 | 上演：海外劇団 (アルゼンチン、チェコ) 2企画・計3公演開催 | 目標値 | 300 |
| | | とらまる座ホール | | 実績値 | 174 ※ |
| 5 | 人形劇場とらまる座30周年記念・特別公演事業3 (他分野共同創作公演) | 2022年9月23～25日 | 「コッペリア」を原作に、人形劇とバレエのコレボレーション作品を創作・上演。3公演開催。 | 目標値 | 345 |
| | | とらまる座ホール | | 実績値 | 140 |
| 6 | 人形劇場とらまる座30周年記念・特別公演事業4 (大型人形劇公演A) | 2022年6月・11月 ・2023年2月 | 定期公演よりも大型舞台の人形劇プログラム公演。 3企画・計6公演開催 | 目標値 | 690 |
| | | とらまる座ホール | | 実績値 | 431 |
| 7 | 人形劇場とらまる座30周年記念・特別公演事業5 (大型人形劇公演B) | 2022年9月10・11日 | 上演：人形劇団むすび座 大型作品のうち、より大規模で芸術性の高いプログラム2公演開催。 | 目標値 | 230 |
| | | とらまる座ホール | | 実績値 | 110 |

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和4年度実施事業一覧【人材養成事業】

| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
|----|----------------------|-------------------------|---|----------|-----|
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 1 | 香川県・東かがわ市アマチュア劇団育成事業 | 2022年7月7日 ～2023年3月5日 | 人形劇講座の開催(期間中15回)、 上演機会の提供(3回)、地域内公演の 活動支援(4回)、活動場所提供(33回) | 目標値 | 250 |
| | | 人形劇場とらまる座 | | 実績値 | 145 |

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

| 自己評価 |
|---|
| <p>社会的役割等（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p> |
| <p>●人形劇場とらまる座のミッション</p> <ul style="list-style-type: none">○人形劇文化の芸術的価値の啓蒙および社会的認知の向上○文化的社会包摂の実現○人々の「生きる力＝想像力・創造力・コミュニケーション力」の育成○地域芸術文化振興の拠点○地域特有文化の発信拠点 <p>●事業構成の概要</p> <p>人形劇場とらまる座は、東かがわ市(旧大内町)において、地域の人々が日常的に人形劇を鑑賞できることを目的として設立され、毎年自主事業として年間100回以上の人形劇公演を企画・実施し、国内屈指の公演実績を誇る人形劇専門劇場である。最も普遍的かつ高度な総合芸術性を備えた「人形劇」を核として、公演事業等の施設運営のみにとどまらず、多岐にわたる地域貢献事業を実施している当館の取組みは、当市地域はもちろん香川県～中四国地方における芸術文化振興に大きく寄与している。</p> <p>当館は2022年9月に開館30周年を迎え、翌2023年度には「とらまるパペットランド」設立20周年を迎えることから2021年度～2023年度における3カ年特別プロジェクトを遂行中であり、とらまる座の公演企画の充実を筆頭として施設運営の向上、地域文化振興事業の拡充等、国内屈指の人形劇文化事業にさらなる磨きをかけて取り組んでいる。</p> <p>過去2年間は、新型コロナウイルス禍の影響により企画の中止・延期、規模縮小等の計画変更を余儀なくされたが、当年は「とらまる座30周年」記念企画を含め全ての企画事業を計画どおりに実施した。</p> |
| <p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p> |
| <p>人形劇場とらまる座は、人形劇～子どもの舞台芸術文化の創造・発信拠点として、また、都市部に比しての芸術文化格差が否めない地方地域：東かがわ市～中国四国地方において、日常的に本格的な舞台芸術に触れられる重要な存在となっている。劇場空間と舞台鑑賞機会の意義＝「多種多様な人々が同じ体験を共有する場」という意義が社会包摂の実現に向けても重要視されている中、世代や人種を選ばない魅力をもつ「人形劇の劇場空間」は、コロナ禍において大きく損なわれた「人のつながり＝社会幸福の本質」を回復し、健全な人の営みを取り戻すためにもその意義を増していると考えられる。</p> <p>とらまる座の位置する東かがわ市はもとより、中四国地方においては、運営体制・事業予算規模等の関係上、海外劇団や大型舞台の人形劇公演企画は実施機会に乏しいのが常である。一方で、とらまる座の持つ優れた企画力・現場対応力は、企画中枢機関や劇団からの信頼も厚い。当館が実施する特別公演企画は、中四国地方においては希少な、優れた舞台芸術：高度な芸術性を有する人形劇プログラムの鑑賞機会として、実施時には地域内外からの鑑賞ファンが多く訪れている。全国的にも希少な人形劇に特化した当地特有の人形劇事業は、観光資源の一端も担っており、当地の流動人口の増加、産業・経済振興を含め地域の活性化にも寄与している。</p> |

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

【公演事業】

●設定目標／目標達成状況

1. 全年齢対象の人形劇主催公演を過去3年平均比で25%増加する。

過去3年平均：105回 / 当年度：130回(定期123公演+特別7公演) 増加率：23.8% 達成率：95.2%

(指標) 令和4年度において、全年齢対象公演数を131回に増加する。

当年度：130回 / 131回 = 達成率：99.2%

2. 公演観客数を、コロナ禍前水準(平成30年度水準)：12,000人まで回復させる。

(指標) 令和4年度において、公演観客数12,000人以上集客する。

当年度公演観客数=7,802人 達成率：65%

3. 鑑賞アンケート・有効返答1000枚以上回収する。

有効返答回収数=378枚 達成率：37.8%

(指標) 令和4年度において、鑑賞アンケートを全ての公演で観客に配布

配布した公演15/全公演数138 達成率：10.8%

4. 東かがわ市民の当施設利用者率を15%に増加する。

当年度の東かがわ市民利用者率=14.6% 達成率：97.3%

(指標) 東かがわ市民の当施設利用者数を1500人に向上させる。(公演観客数12000人として)

当年度の東かがわ市民利用者数=1,139人(利用率による推計数) 達成率：75.9%

●自己評価

全年齢型の公演数としての目標はほぼ達成できた。しかしながら、アンケート分析から特別公演においては年齢区分を設けた公演形態が望まれる傾向もあり、それぞれの特性を踏まえての公演計画を立てる必要性がうかがえる。集客についてはコロナ禍の緩和・回復が想定よりも芳しくなく、前年よりは回復したものの目標達成には至らなかった。観客動態分析に資するアンケートの全公演配布もコロナ禍の影響を残しては不適と思われる、特別公演(15公演)における配布および常設アンケートでの集計にとどめたため、目標を大幅に下回る結果となっている。

【人材養成事業】

●設定目標／目標達成状況

1. 文化施設従事者の育成

2. 芸術創造者の育成

3. 芸術文化創造性に優れた人材の雇用、育成に資するシステムの構成・導入を図る。

4. 人形劇場とらまる座／とらまるパペットランドが、人形劇団および芸術家の創造性刺激・水準向上の場となることを目指す。

(指標1) アマチュア劇団の創造育成講座開催

当初計画：年間20回 / 実施：15回 達成率：75%

(指標2) アマチュア劇団の企画力育成講座開催

当初計画：年間5回 / 実施：3回 達成率：60%

(指標3) 地域内におけるアマチュア劇団の公演を企画制作・公演実施

当初計画：3か所・3公演 / 実施：3か所・4公演 達成率：133%

●自己評価

人材養成事業については、当助成対象の取組みをアマチュア劇団の育成に絞っているため、設定目標と指標の意義に乖離がある。指標の達成状況としては事業期間においてコロナ感染者の増加からアマチュア劇団の活動数が減少したこともあり育成講座の実績は目標達成に至らなかった。一方で、公演企画については地域内においての公演を復活させたい気運もあり、当初目標を上回る実績となっている。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

【公演事業】

当年は「人形劇場とらまる座開館 30 周年」の記念期間であり、2021 年の 3 カ年特別プロジェクトの立ち上げ当初から、定期公演数の増加、海外劇団公演、自主創作公演(他分野共同事業)、大型舞台公演を計画しており、全てほぼ計画通りに実施した。

集客についてはコロナ禍の社会的回復が芳しくなく、依然として世の感染者状況に世間が一喜一憂する状況が続き、特に幼稚園・保育所・小学校等の団体利用の減少が続いているため定期公演事業での集客減少が当初目標に対して大きく下回っている。しかしながら一般客については夏以降に大きく回復傾向にあり、特別公演では、目標には達しないながらも従来の特別公演状況に近い集客実績が得られ、また、観客からの評判も良く、地域特有劇場の啓蒙・地域文化振興においても有意義な事業計画であったと評価している。

【人材養成事業】

アマチュア劇団の育成事業は、コロナ禍の影響での劇団活動数の減少から多少の実施減少はあったが、概ね計画通りに実施した。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

●総額

助成対象経費 予算額 30,939,000 円 / 決算額 31,308,419 円 / 変更額 369,419 円 (1.19%増)

◎内訳

(公演事業)

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1. 定期人形劇公演事業 1 (招聘プロ劇団公演) | … 変更額 466,919 円 (4.45%増) |
| 2. 定期人形劇公演事業 2 (委託プロ劇団公演) | … 変更額 14,364 円 (0.27%増) |
| 3. 特別人形劇公演事業 1 (日本 UNIMA 総会企画公演) | … 変更額 764,085 円 (45.45%増) |
| 4. 特別人形劇公演事業 2 (海外劇団作品公演) | … 変更額 13,377 円 (0.34%減) |
| 5. 特別人形劇公演事業 3 (他分野共同創作公演) | … 変更額 11,637 円 (0.30%増) |
| 6. 特別人形劇公演事業 4 (大型人形劇公演 A) | … 変更額 655,181 円 (20.18%減) |
| 7. 特別人形劇公演事業 5 (大型人形劇公演 B) | … 変更額 178,938 円 (8.64%減) |

(人材養成事業)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 香川県・東かがわ市アマチュア劇団育成 | … 変更額 40,090 円 (12.89%減) |
|-----------------------|--------------------------|

【総括】

定期公演事業は当初計画 116 公演に対し臨時公演等で実績 121 公演と増加したため経費も増額している。また、公演事業 3 において増額が大きいのは、当初予算で未計上であった特別公演のまとめ宣材経費(デザイン費・印刷費)を当企画に計上したことによるものである。

総額状況が示す通り全体としての事業費設定・執行状況は適切であったと言える。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

○施設概要

「東かがわ市とらまるパペットランド」は、日常的に(年間100回以上)プロ劇団の人形劇公演を開催する「人形劇場とらまる座」、国内唯一の人形劇の体験型博物館「とらまる人形劇ミュージアム」を有し、舞台芸術ジャンルにおいて、舞台作品鑑賞と実演体験を同時に楽しめる全国でも希少な複合施設であり、国内唯一の人形劇の複合施設(テーマパーク)である。1992年の人形劇場とらまる座の設立から現在に至るまで、とらまるパペットランドの文化事業は人形劇～子どもの舞台芸術文化の創造・発信拠点として、東かがわ市～中四国地方・西日本広域における重要な存在となっている。また、施設運営のみにとどまらず、多岐にわたる地域貢献事業、アウトリーチ活動の取り組みは、高度な専門性を有する優れた文化施設運営・地域文化創生事業のモデルとして多方面から注目されている。

2022年9月「人形劇場とらまる座30周年」、10月「(社)パペットナビゲート設立10周年」、2023年3月「人形劇ミュージアム20周年」、次2023年度は「東かがわ市政20周年&とらまるパペットランド設立20周年」を迎える特別記念年間であり、当方では2021年～2023年度における3カ年計画での特別プロジェクトを計画・実施中である。

○運営特記事項

人形劇場とらまる座の運営は、文字通りの「人形劇専門劇場」としての運営に徹している。

自主事業企画人形劇公演を年間100回以上開催し、地域アマチュア劇団の活動支援関係以外の一般貸館事業はほとんど実施していない。「人形劇専門劇場としての主旨を明確に保持するため、とらまる座は人形劇以外の事業には使用しない」=開設当初に掲げられたこの運営理念と、現館長を筆頭とする常在職員の高度な専門性が、田舎町小劇場の「国内屈指の事業・運営実績を誇る人形劇専門劇場」としての現在を支えている。

コロナ禍中の2020～2021年度においても、人形劇場とらまる座(東かがわ市とらまるパペットランド)では、施設運営その他事業活動を当初計画からほとんど欠くことなく実施してきた。「人のアナログの力が結集した総合芸術」「多元的多様性を包含し、人間自身や人間社会を取り巻く世界の魅力を伝える舞台芸術」という人形劇の社会的意義と、とらまる座の持つ人形劇文化の拠点および地域芸術文化の拠点としての存在意義から、「コロナ禍だからこそ、人形劇を、とらまる座の事業を絶やしてはならない」という信念に基づき、公演事業および種々の活動事業を実施してきている。

○当年の事業実績と社会的意義

本年度は「人形劇場とらまる座30周年」の特別事業として、例年よりも公演企画を数・質ともに充実させ、(人口3万に満たない地方自治体の)公立・小規模劇場としては全国随一ともいえる企画内容で実施した。海外劇団公演企画を2年ぶりに開催。他分野共同創作公演では本格的なバレエとのコラボレーション作品を創作・上演するなど、いずれの作品も非常に芸術性レベルの高い人形劇作品であり、高度な舞台芸術に触れる機会に乏しい当地域における芸術文化振興に大いに寄与した。また、国際人形劇連盟UNIMA日本センター(日本ウニマ)の当年度総会および総会開催記念プログラムが開催されたことは、とらまる座の国内人形劇文化における重要度を示している。当事業では東かがわ市長を含む行政要人の参加もあり、「とらまる座30周年」の啓蒙と共に、人形劇に携わる人々においても、また当地域にとっても人形劇・芸術文化振興において非常に有意義な事業となった。

「想像力・創造力」=「生きる力」の感化を真髄とする人形劇文化は、子どもたちにとってはもちろん、大人にとって、社会にとって、心豊かな社会構築のために重要な役割を持った芸術文化である。また、地域特有の文化施設を中心に発信されたものを、鑑賞・体験・共有することは、「人と人・人と地域」のコミュニケーション活性の基となり、健全で文化的な地域創生の根幹にあたるものと捉えている。コロナ禍の影響は未だ解消されない中ではあったが、地域特有劇場の記念事業の開催に多くの来場者があったことは、地域の芸術文化振興はもとより、地域社会における健全な人の営み・地域活性化にも有意義であった。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

○地域での創造性波及効果

人形劇は、演劇・美術・造形・物語創作・音楽・空間演出等 多要素が集合した総合芸術である。とらまる座では、子どもから大人まで楽しめる人形劇プログラムに加え、高度・斬新な演出・美術様式・社会的テーマ・ハイレベルの演技といった優れた芸術性で構成された特別公演プログラムも実施している。多種多様な人形劇プログラムの定期的・日常的な公演開催は、人形劇分野のみならず、地域内外のアーティストにおいても創造性刺激・研鑽の機会となっている。

東かがわ市・香川県内の人形劇関連アマチュア劇団は、とらまる座の設立と共に 25 年を越える歴史を持つ。メンバーの高齢化・新規参入困難といった社会情勢から衰退傾向は否めないが、本事業はアマチュア劇団の創造性・活動意欲を刺激・育成し、市民の芸術文化活動の継承に寄与している。近年は、劇団事情により活動場所（稽古場所）の確保に苦勞する劇団が増え、とらまる座内での活動場所無料提供は、劇団の活動継続にも大いに貢献できている。アマチュア劇団への地道な活動支援は、一方で、とらまるパペットランドのサポートスタッフとしての参入を促し、相互に良好な関係を構築しつつ、地域全体の文化活動の活性化にもつながっている。

当地：東かがわ市では、2020 年度後期より、地域外人員を主体に構成された「東かがわ市わくわく課(非行政団体)」による地域の魅力創生・発信事業が進められており、中でも、人形劇を核とした『パペットカルテットプロジェクト』企画および『バレエと人形劇のコラボレーション創作』企画が、2022 年 9 月とらまる座 30 周年～2023 年東かがわ市政 20 周年に焦点をあてての主要事業として取り組まれている。

○運営団体の創造性

多彩な劇団の公演プログラムの企画・実施は、自らが人形劇創作および上演を担う当運営団体・スタッフにおいても、創作における構成や美術の構想、人形操演などの創造性刺激に有用なものである。また、大型人形劇の公演では、上演団に付随する外部の舞台スタッフとの協働作業や交流もまた、当スタッフの舞台技術レベルの向上につながっている。企画の面では、2015 年度の事業から海外劇団公演企画を実施するにあたっての関連機関とのパイプが構築され、助成金の活用・機材の整備など、海外劇団企画を毎年の恒例企画とするノウハウを積み上げてきた。また、国内人形劇分野の統括機関である「全国専門人形劇団協議会」の事業企画においても当館の存在および企画力は重要な位置づけに認識されており、さまざまな企画連携が当運営団体の企画運営力の向上にもつながっている。

芸術創造性の向上については、体制向上計画に則り、当年度より「人形劇創造部門」を設立。プロ劇団活動の経験者を雇用し、将来に向けた創造的事業展開に資する体制を構築。本年事業において、日本 UNIMA 総会における舞台美術製作・オープニングパフォーマンスの構成・演出・出演、『バレエ&パペットシアター☆コッペリア』の創作・上演、先述の「東かがわ市わくわく課」=『パペットカルテットプロジェクト』における人形劇創作などを手掛け、いずれも好評を博している。

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

2012年(平成24年)「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」・2017年(平成29年)「文化芸術基本法」が制定され、地域の文化施設は主体的な芸術文化事業の意義が重要視されるようになった。また、近年では「社会包摂～あらゆる分け隔てのない健全な社会の構築～」の意義も高まっている。人形劇場とらまる座は、人形劇専門劇場として国内屈指の公演実績・活動事業実績を持ち、また、人形劇は、最も普遍的かつ多面的多様性を包含した芸術文化である。

当法人：一般社団法人パペットナビゲートは、2013年度に人形劇場とらまる座(を含む「東かがわ市とらまるパペットランド」)の指定管理者となって以降、国の文化政策の推移とともに、まさに「時代の後押し」を受けて、その事業実績を着実に向上させてきている。とらまる座では、2015年度の事業から関連国際機関との連携が密となり、また毎年海外公演事業を実施してきた過程で主催劇場としての体制・ノウハウを構築してきた。また、とらまる座の持つ優れた企画力・現場対応力は、国内の人形劇を含む芸術創造団体や国際企画中枢機関からの信頼も厚い。企画内容の向上とともに広報戦略も向上させ、特別公演実施時には、東かがわ市～香川県内はもとより、高度な人形劇プログラムの鑑賞機会に乏しい中四国・西日本広域から多くの鑑賞ファンが訪れるようになった。海外劇団公演事業や大型舞台人形劇などの特別公演では、いずれも企画主催者の見込みを上回る集客もあり、今後の特別公演企画にも期待が寄せられている。

事業拡充とともに事業費も増大するのは当然であるが、とらまる座の存在と事業意義は行政にも認められており、2018年度の指定管理更新時には指定管理料7.3%増額(3261万→3500万)、2023年度の更新時には9.0%増額(3760万→4100万)となった。また、事業費の拡大に応じて各種助成金獲得額も年々増額している。これは地域自治体のみならず、芸術文化中枢機関にも広く当館の事業意義が認められていることを示している。

次2023年度は「東かがわ市政20周年&とらまるパペットランド設立20周年」を迎え、2021年～2023年度における3カ年計画・特別プロジェクトの集大成となり、とらまる座の特別公演事業をはじめ、当年同様・それ以上に様々な発展的事業プランが計画・遂行されている。

当館は、国内随一の人形劇場として、また、地域随一の劇場運営を目指して優れた舞台芸術作品を提供するとともに、これまでの事業に加え、人形劇文化と地域文化の発展につながるべく事業展開(自主創作公演、高齢者対象の人形劇事業、世代間交流事業、劇場設備バックツアー企画、創造団体連携のプロデュース公演企画など)を見据えている。地域行政および関連機関・地元住民団体との連携を深め、芸術創造力を地域に還元。地域文化創造の中核劇場としての役割を果たし、将来にわたりユニークな地域創生と地域活性化に寄与する所存である。